

(仮称) 越谷市自治基本条例に関する勉強会 (第8回)
「コミュニティ (地域共同体) について」(ワークショップ)

日時：平成20年1月19日(土) 13:30～

会場：越谷市中央市民会館5階 第2・3会議室

1 開会あいさつ (代表幹事)

あけましておめでとうございます。

今年初めての勉強会になります。勉強会も8回目を迎えることが出来ました。議論の内容についても最初は苦情や要望が多くありましたが、最近は建設的な意見が多くなってきたと感じています。

越谷市では、「水と緑と太陽に恵まれた ふれあい豊かな自立都市」を将来像としています。3月にはレイクタウンのまち開きがあり、また、今年は、市政50周年を迎えることになります。

安心、安全に暮らせるまちづくり、地域づくりのためには、共創・共助の考え方が重要になってくると思います。

本日もよろしくお願いします。

2 「コミュニティについて」の講義 (代表幹事) 【別紙「コミュニティについて」参照】

(1) 越谷市にとってのコミュニティ

- ・ 「地区コミュニティ推進協議会 (コミ協)」による活発な活動
- ・ 事業の実施及び「まちづくり」への参画、協働 (行政、市民等)

(2) なぜ、いま「コミュニティ」か

- ・ 地域課題の解決
- ・ 越谷市→近代化・人口の流入・越谷都民

(3) 「コミュニティ」とは何か

- ・ 旧来の地域社会とコミュニティ (非拘束性、非閉鎖性、近代性等)
- ・ 地域コミュニティ (地縁型) とテーマコミュニティ (機能型)
- ・ コミュニティの理念→「市民としての自主性・主体性と責任とを自覚した住民が、自分の生活する地域に対して帰属意識をもち、共通の目標を目指して共同活動を取るような地域社会であるべきだ」

3 「コミュニティについて」の意見交換 (参加者全員で意見交換)

(1) コミュニティに関する理解を深めるとともに、自治基本条例に関連性の高い地域コミュニティ、テーマコミュニティの現状、問題点などについて把握するための意見交換を行う。

(2) イスを中央に丸く並べて参加者が座り、身近なコミュニティ団体について、住民自治の視点から評価できる点、問題のある点などについて討論をする。

討論をする上でのルールとして、①1人の持ち時間は3分間。②前の人の発言に対するコメント(批判はしない)を一言入れてから、自分の発言をすることとする。

【意見】

- ① 市には、13の地区があり地区ごとに地区センター、交流館等の施設がある。財政難であり、団体に加入していない個人に対する恩恵も少ない。大きくまとめるという考え方もあると思う。
- ② 環境問題や災害対策を考えると市域を超えたコミュニティということも考える必要がある。
- ③ 市民の助け合いや地域の信頼については、まだまだ出来ていないと思う。
- ④ 市の13地区には、それぞれ歴史や地域性がある。地区をいかに活かしていくかが課題だと考える。
- ⑤ 個人として積極的にコミュニティに参画していくことが重要だと思う。
- ⑥ 平等という概念を市民生活にどう反映させるか、考えていく必要がある。
- ⑦ 13地区における「自治会」の位置付けの確認が必要だと考える。
- ⑧ 自治会における共通の目的が不明確になっている。高齢者は目的が広範囲で、若年者は狭い傾向にあると思う。（お祭り＞防災・防犯、ごみ処理）
- ⑨ 昔からの地域社会の良さをもっと考える必要がある。
- ⑩ 行政の単位とコミュニティについて、別に考える必要がある。（消防、災害等）
- ⑪ 市民のそれぞれの目的に合った活動を育てることが重要だと考える。
- ⑫ 自治会の古い慣習等には、いい所もあるが改善する所も多くあると思う。
- ⑬ 平等悪ということもある。市民一人一人が住みやすい越谷を目指すべきだと考える。
- ⑭ 新住民と地域社会（自治会等）の融合が重要だと考える。
- ⑮ コミュニティサービスの充実を考える必要がある。
- ⑯ 行政サービスを住民と一緒に考えていくことが重要だと思う。
- ⑰ コミュニティの軸になっているのは、自治会だと思う。農業生産を中心とした共同体から多様化する個人のニーズに対応するための共同体に変化してきていると思う。
- ⑱ 昔からの地縁団体である自治会と新しい地縁団体であるコミ協の活動に不整合があると思う。
- ⑲ コミ協が柔軟で包括的な組織（運動体）になることにより、地域に新しい概念のコミュニティが出来ると考える。
- ⑳ 地縁団体と新しい組織（NPO等）が組織として融和していない。人間関係資本、熱意のある人間同士のネットワークが重要だと考える。

4 「コミュニティの果たす役割について」（グループごとにワークショップ）

- (1) 今後、コミュニティがどのような役割を果たすべきかについての意見を付箋紙に書き込み、整理をする。地域コミュニティについては青、その他のコミュニティについては赤の付箋紙に書き込む。
- (2) 各班での作業
 - ① 自己紹介
 - ② 現状について話し合う。

- ③ 付箋紙に記入する。
- ④ 自分の意見を簡単に発表し、付箋紙を模造紙に貼り付ける。
- ⑤ 貼り付けた意見をカテゴリーごとに整理し見出しをつける。
- ⑥ コミュニティの将来像を五七五の言葉で言い表し、グループ名とする。
- ⑦ 各班で発表者を決め発表する。【別紙】

【発表】

1 班ー「コミュニティ みんなの総意で 進めよう」

- ・ 自治会やコミュニティの目的が不透明だ。
- ・ 自治の問題とは、財政の問題である。
- ・ コミュニティの役割を明確にする必要がある。
- ・ 地域コミュニティの必要性を共通認識する必要がある。
- ・ 子供たちへの自治教育が必要だ。
- ・ コミュニティ形成の基本には自治会がある。

2 班ー「ご近所の底力 子育て 防災・防犯を」

- ・ 自治会は簡素化する必要がある。
- ・ 自治会は市民生活にとって大切な組織である。
- ・ 自治会は地域のために活動するべきだ。
- ・ 自治会の運営を風通しの良いものにする必要がある。
- ・ 働く人、若い人など多様な人が参加しやすい組織、コミュニティが必要だ。
- ・ コミュニティは地域を越えた活動に有効だ。

3 班ー「自主性と 柔軟性で 活力を」

- ・ 自治会は形骸化している。
- ・ 自治会によって活動にばらつきがある。
- ・ 自治会の会計が不透明である。
- ・ 現役のサラリーマンの力を活用する必要がある。
- ・ テーマコミュニティは新しい課題に対応出来る。
- ・ コミ協は柔軟性に欠けている。

4 班ー「つながりは 人と人との やる気力 老いも若きも 大きな輪に」

- ・ 防災、防犯活動において自治会活動は有効だ。
- ・ 地域住民の共通利害が薄くなっている。
- ・ 若い人の自治会への参加が必要だ。
- ・ 自治会には女性の会長がいない。男性社会になっている。
- ・ 人がテーマごとに集まる場所が必要だ。
- ・ 地域社会とNPO等との融合、多様な人の受け皿が必要だ。

5 総括（幹事）

今日の勉強会のポイントは自治会の問題だと思います。あるまちのアンケートによると環境や福祉のボランティア活動等に参加したい人は、非常に多くいるのですが、自治会活動に参加したい人は少ないそうです。コミュニティは市民のためにあり、必要なものです。しかし、地域コミュニティ（自治会等）には、改善も必要だと思います。

す。新しいコミュニティであるテーマコミュニティは、そのときの重要なポイントになると思います。今後、地域コミュニティとテーマコミュニティを一緒に考えていく必要があると思います。

6 企画部長挨拶

勉強会も8回目になりました。8月に講演会を開催し、9月から勉強会が始まりました。真夏から真冬へと季節が変わりましたが、その間、勉強会にご参加のみなさまにおかれましては、非常に熱心な議論をしていただき、ありがとうございました。

来年度から自治基本条例の審議会を設置します。今までの審議会では、団体の代表者や学識経験者が中心となっていました。しかし、自治基本条例の審議会では、公募の市民のみなさまが9割を占める予定です。越谷市でも初めての試みになります。多くの市民のみなさまと学識経験者でご議論をしていただき、そのうえで、地域、団体、市民のみなさまとヒアリング等を行い、十分協議していただきたいと思います。勉強会に参加していただいたみなさまにおかれましては、ぜひ公募委員へご応募いただきたいと思います。

越谷市は、今年50周年を迎えます。この節目の年に、これからのまちづくりの手続きを決める、越谷市にふさわしい自治基本条例をみなさまとつくっていききたいと思います。

本日はどうもありがとうございました。

7 越谷まちづくりフォーラムについて(事務局)

(1) 越谷まちづくりフォーラムについて

- ・越谷まちづくりフォーラムについて配布したチラシに基づいて説明

日時 2月10日(日)午後1時～4時

場所 越谷市中央市民会館5階第2・3会議室

内容 寸劇 基調講演 パネルディスカッション

(2) 審議会委員の募集について

- ・審議会委員の募集について配布したチラシに基づいて説明

募集人数 27人以内

応募資格 市内在住の20歳以上の方

募集期間 2月15日(金)必着

8 閉会あいさつ(代表幹事)

コミュニティについては、目的や熱意にばらつきがあると感じました。コミュニティの概念をしっかりと捉えて自治会やコミ協について考える必要があると思います。また、財政についても多くの議論があったと思います。市政の効率的運営においても協働やコミュニティは、キーワードになると思います。勉強会も8回目になり今日が最後になりますが、今回は特に中身の濃い議論が出来たと思います。今後の審議会委員へ多くの方にご応募いただきたいと思います。

本日はどうもありがとうございました